【建設副産物・発生土情報交換システムの新機能　シリーズ１／５】

副産物システムの地図検索

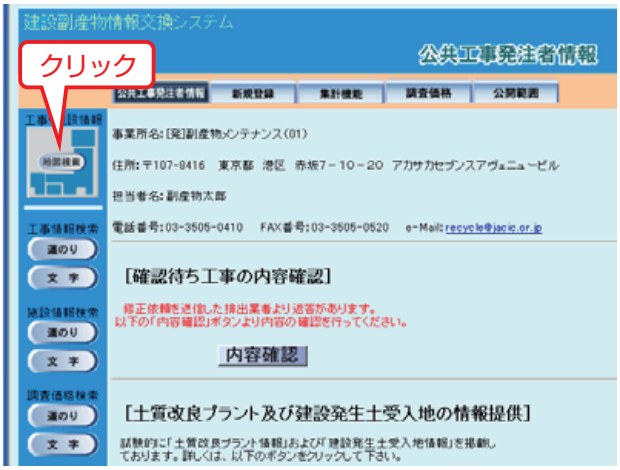

図-1　トップ画面（発注者の例）

建設副産物情報交換システム（COBRIS：コブリス）では、公共工事等の発注者・受注者（排出事業者）・処理業者が、各自の情報を交換し合うことができます。主な情報は、受注者が登録した工事情報と、処理業者が登録した処理施設情報です。今回は、この2つの情報を地図画面上から検索する機能を紹介します。

図－1は発注者の場合のトップ画面です（他のユーザでもほぼ同じ）。左上の「地図検索」ボタンをクリックすると、図－2・3の地図検索画面を表示します。上部の条件設定や右側の縮尺設定により、任意の地図上に位置する自工事(自発注又は自受注)・他工事・処理施設をマーキングします。

図-2　工事情報の地図検索イメージ

図－2は工事情報の場合で、自工事又は他工事のマークにカーソルを置くと、下端にその工事の状態・名称、施工場所・工期、発注者・受注者・その担当者電話番号、工事の種類・概要を表示します。一部の情報は地図上の窓にも表示します。

図－3は処理施設情報の場合で、同様に処理施設のマークにカーソルを置くと、下端に施設種類・事業所名、所在地・担当者電話番号、受入・販売料金、営業時間を表示します。

また、地図上の表示窓をクリックすることで、全情報の閲覧や、自工事の場合には、情報更新、印刷等の処理を行うこともできます。

図-3　処理施設情報の地図検索イメージ

（建設副産物情報センター長　田山成一）